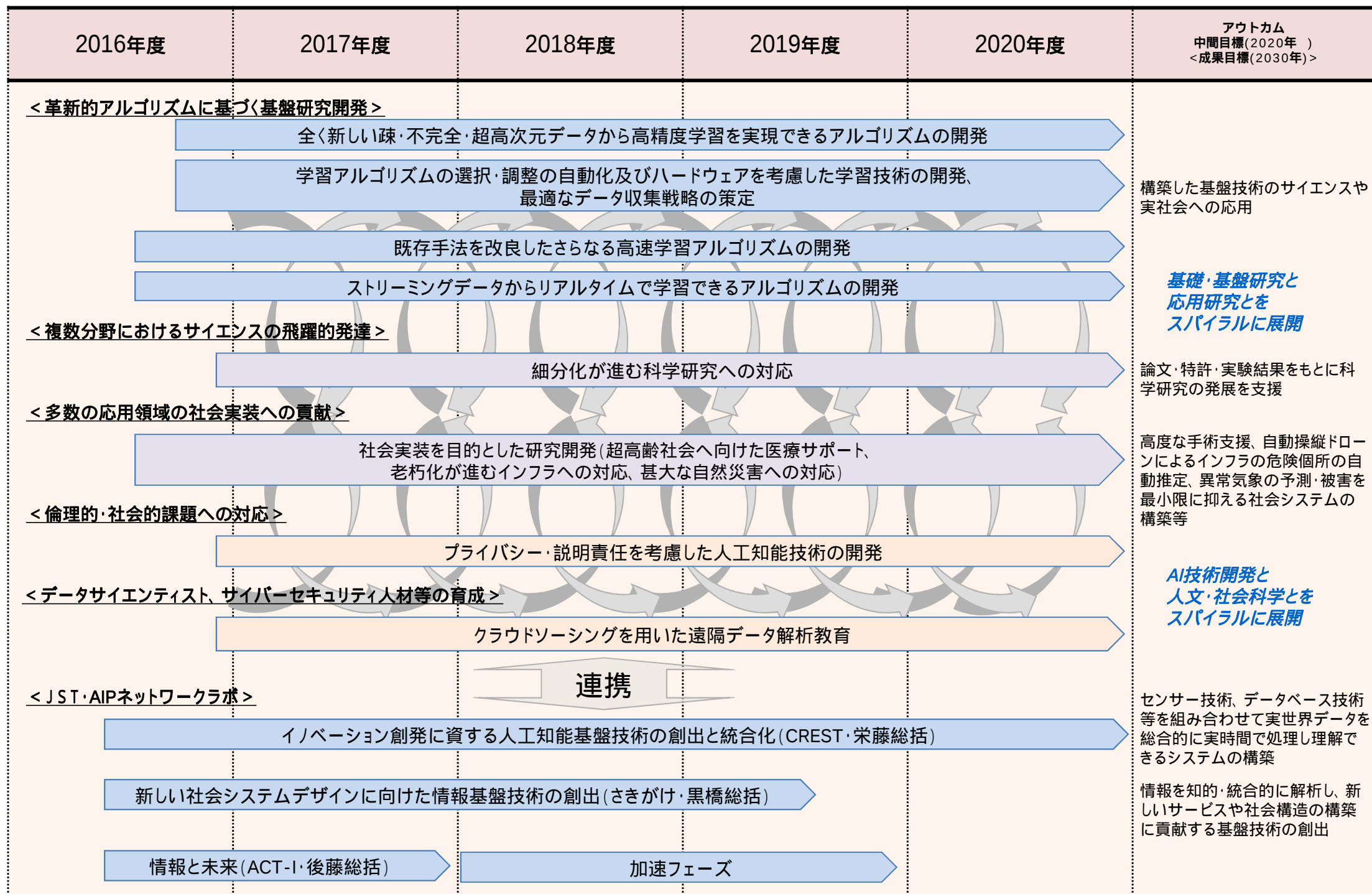


情報通信研究機構 研究計画(案)

(2015年度)	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	アウトカム案 中間目標(2020年) <成果目標(2030年)>
Web情報分析システム WISDOM Xの研究開発	<社会知解析基盤技術> 自立的社會知技術の研究開発					2020年半ばまでに、非専門家が社会問題等に関して、専門家レベルの知識にアクセスでき、青少年の学習等でも活用できる、特定分野対話型情報サービスや、災害の救援活動や、大規模イベントの等の効率的運用を支援するシステム 2030年には汎用対話型意思決定支援システムを実現
対災害SNS情報分析システムDISAANAの研究開発	リアルタイム社会知の研究開発					2020年半ばまでに、非専門家が社会問題等に関して、専門家レベルの知識にアクセスでき、青少年の学習等でも活用できる、特定分野対話型情報サービスや、災害の救援活動や、大規模イベントの等の効率的運用を支援するシステム 2030年には汎用対話型意思決定支援システムを実現
多言語音声翻訳システムVoiceTraの研究開発	多言語音声翻訳技術の研究開発					2020年半ばまでに、非専門家が社会問題等に関して、専門家レベルの知識にアクセスでき、青少年の学習等でも活用できる、特定分野対話型情報サービスや、災害の救援活動や、大規模イベントの等の効率的運用を支援するシステム 2030年には汎用対話型意思決定支援システムを実現
	<多言語音声翻訳技術> 音声翻訳の自動翻訳技術の多言語化と多分野化					2020年半ばまでに、非専門家が社会問題等に関して、専門家レベルの知識にアクセスでき、青少年の学習等でも活用できる、特定分野対話型情報サービスや、災害の救援活動や、大規模イベントの等の効率的運用を支援するシステム 2030年には汎用対話型意思決定支援システムを実現
	多言語音声翻訳・対話システムの拡張と高精度化					2020年半ばまでに、非専門家が社会問題等に関して、専門家レベルの知識にアクセスでき、青少年の学習等でも活用できる、特定分野対話型情報サービスや、災害の救援活動や、大規模イベントの等の効率的運用を支援するシステム 2030年には汎用対話型意思決定支援システムを実現
	超高速・超高精度な多言語自動翻訳技術の研究開発					2020年半ばまでに、非専門家が社会問題等に関して、専門家レベルの知識にアクセスでき、青少年の学習等でも活用できる、特定分野対話型情報サービスや、災害の救援活動や、大規模イベントの等の効率的運用を支援するシステム 2030年には汎用対話型意思決定支援システムを実現
	多言語対訳コーパス収集法の確立および多言語汎用自動翻訳エンジンの研究開発 多言語同時通訳技術の研究開発					2020年半ばまでに、非専門家が社会問題等に関して、専門家レベルの知識にアクセスでき、青少年の学習等でも活用できる、特定分野対話型情報サービスや、災害の救援活動や、大規模イベントの等の効率的運用を支援するシステム 2030年には汎用対話型意思決定支援システムを実現
脳活動計測技術の研究開発	<脳情報通信> 脳内ネットワークのモデルを用いた新たな情報処理アーキテクチャの研究開発					2020年半ばまでに、非専門家が社会問題等に関して、専門家レベルの知識にアクセスでき、青少年の学習等でも活用できる、特定分野対話型情報サービスや、災害の救援活動や、大規模イベントの等の効率的運用を支援するシステム 2030年には汎用対話型意思決定支援システムを実現
	脳情報DBシステムの研究開発					2020年半ばまでに、非専門家が社会問題等に関して、専門家レベルの知識にアクセスでき、青少年の学習等でも活用できる、特定分野対話型情報サービスや、災害の救援活動や、大規模イベントの等の効率的運用を支援するシステム 2030年には汎用対話型意思決定支援システムを実現
	脳内NWのモデルから応用可能なバイオマーカーを見出し、現在のアーキテクチャが苦手とする情報処理を効率的に実現する情報処理アーキテクチャの基盤を構築する 脳計測システム(MRI,MEG,EEG,NIRS等)による実験データを大規模DBとして構築、関連するデータ処理ツールを含め共有化。					2020年半ばまでに、非専門家が社会問題等に関して、専門家レベルの知識にアクセスでき、青少年の学習等でも活用できる、特定分野対話型情報サービスや、災害の救援活動や、大規模イベントの等の効率的運用を支援するシステム 2030年には汎用対話型意思決定支援システムを実現
サイバー攻撃観測・分析・対策システムNICTER、リアルタイム可視化ツールNIRVANA等の研究開発	<サイバーセキュリティ> パーソナルデータの利活用に適用できるプライバシー保護技術の研究					2020年半ばまでに、非専門家が社会問題等に関して、専門家レベルの知識にアクセスでき、青少年の学習等でも活用できる、特定分野対話型情報サービスや、災害の救援活動や、大規模イベントの等の効率的運用を支援するシステム 2030年には汎用対話型意思決定支援システムを実現
	セキュリティ技術の自動化の研究開発					2020年半ばまでに、非専門家が社会問題等に関して、専門家レベルの知識にアクセスでき、青少年の学習等でも活用できる、特定分野対話型情報サービスや、災害の救援活動や、大規模イベントの等の効率的運用を支援するシステム 2030年には汎用対話型意思決定支援システムを実現
	パーソナルデータ利活用に資するプライバシー保護技術の研究開発およびプライバシー対策支援ツールの開発・運用 実利用を鑑みたセキュリティ知識ベースの機能構築・拡充および組織内セキュリティの自動化技術の研究開発					2020年半ばまでに、非専門家が社会問題等に関して、専門家レベルの知識にアクセスでき、青少年の学習等でも活用できる、特定分野対話型情報サービスや、災害の救援活動や、大規模イベントの等の効率的運用を支援するシステム 2030年には汎用対話型意思決定支援システムを実現
ネットワーク仮想化技術の研究開発	<電磁波・センシング> ビッグデータを用いた太陽フレア発生確率予測の研究開発					2020年半ばまでに、非専門家が社会問題等に関して、専門家レベルの知識にアクセスでき、青少年の学習等でも活用できる、特定分野対話型情報サービスや、災害の救援活動や、大規模イベントの等の効率的運用を支援するシステム 2030年には汎用対話型意思決定支援システムを実現
	画像解析手法を用いたフレア発生確率の導出および磁場観測利用					2020年半ばまでに、非専門家が社会問題等に関して、専門家レベルの知識にアクセスでき、青少年の学習等でも活用できる、特定分野対話型情報サービスや、災害の救援活動や、大規模イベントの等の効率的運用を支援するシステム 2030年には汎用対話型意思決定支援システムを実現
	<革新的ネットワーク技術> ネットワーク自動構築制御技術の研究開発					2020年半ばまでに、非専門家が社会問題等に関して、専門家レベルの知識にアクセスでき、青少年の学習等でも活用できる、特定分野対話型情報サービスや、災害の救援活動や、大規模イベントの等の効率的運用を支援するシステム 2030年には汎用対話型意思決定支援システムを実現
ネットワーク仮想化技術の研究開発	自律型エッジクラウド連携技術の研究開発					2020年半ばまでに、非専門家が社会問題等に関して、専門家レベルの知識にアクセスでき、青少年の学習等でも活用できる、特定分野対話型情報サービスや、災害の救援活動や、大規模イベントの等の効率的運用を支援するシステム 2030年には汎用対話型意思決定支援システムを実現
	流通量変動や新サービス出現に対し、ネットワーク資源を各サービスへ適時適切に自動配分する技術の研究開発 サービス要求に見合うよう、必要な処理機構を自律的にエッジやクラウドに配置する技術の研究開発					2020年半ばまでに、非専門家が社会問題等に関して、専門家レベルの知識にアクセスでき、青少年の学習等でも活用できる、特定分野対話型情報サービスや、災害の救援活動や、大規模イベントの等の効率的運用を支援するシステム 2030年には汎用対話型意思決定支援システムを実現
	東京五輪					2020年半ばまでに、非専門家が社会問題等に関して、専門家レベルの知識にアクセスでき、青少年の学習等でも活用できる、特定分野対話型情報サービスや、災害の救援活動や、大規模イベントの等の効率的運用を支援するシステム 2030年には汎用対話型意思決定支援システムを実現

理化学研究所 革新知能統合研究センター 研究計画(案)



産業技術総合研究所 人工知能研究センター 研究計画(案)

